

プログラム名		No.3	宮教大もりのたんけんたい	
実施団体		○団体名:宮城教育大学幼児教育研究会 ○代表者名:佐藤 哲也 ○電話:022-214-3512 ○FAX:022-214-3512 ○住所:仙台市青葉区荒巻字青葉 149 宮城教育大学 幼児教育講座 佐藤哲也研究室 ○E-Mail:tetsuya@staff.miyakyo-u.ac.jp		
対象者		幼児（3～5歳）		
対象人数		20人まで		
学習場所		宮城教育大学		
学習時間		2～3時間		
学習時期		10月中旬～11月上旬（金曜日10:00～12:30）		
準備物品・費用等 （講師謝金を除く）		実施団体側	救急セット、防虫スプレー、カメラ、印刷機、名札、帽子、ビニールシート（雨天時） 紙芝居、材料カード、落ち葉、木の実等	
		利用者側	軍手、タオル、動きやすい服装、ビニール袋、昼食	
事前打ち合わせ		実施の1か月前まで（当日の流れ確認）		
効果的な学習段階		幼児期の環境学習の導入		
学習概要	1. 学習のねらい			
	幼児教育には、「環境」「表現」「健康」「人間関係」「言葉」という5領域が存在する。その5領域を相互関連させることで、子どもの「生きる力」の基礎を育むことをねらいとする。 探索活動では、子どもたちが豊富な自然環境に触れ、自然とのかかわりを深めていく中で、自然に対する興味・関心を育む。			
	12 つくも青空 つかう葉は 15 風の葉がさる やうう 11 住み続けられる まちづくりを			
	2. 学習する内容		3. 学習のポイント	
	(1) たんけんたい始まりの会 ○一日の流れや安全・マナーの確認 ○体操 2) 冒険へ出発 ○3つのコース（難易度別）に分かれ、探索する。 冒険コースⅠ（ほのぼのコース） 		・一緒に活動する仲間を確認する。 ・アイスブレイクとして、みんなで楽しく体操する。 ・葉っぱや木の実の、色や形のの違いに気付く。 ・同じコースの友達と、探す楽しみ、見つける喜びを共有する。 ・五感を使って自然とかかわる。 ※平坦で穏やかな雰囲気の原因で、のんびりと活動できるコース。	

学習概要	冒険コースⅡ（じっくりコース） 		※宮教大のグラウンド内を探索するコース。歩く距離は少し長い。
	冒険コースⅢ（チャレンジコース） 		※山の中を歩くコース。体力のある元気な子ども向け。
	（３）昼食 ○親や友達との会話を楽しみながら、昼食を摂る。 （４）たんけんたいライセンス授与式 ○たんけんたいライセンスを受け取る。		・和やかな雰囲気の中で、家族や仲間と食事をする楽しさを味わう。 ・活動を振り返り、達成感を味わう。これからは自然に対して、興味・関心を持ち、自ら自然とかかわろうとする意欲を持つ。
	4. 学習のまとめ 普段山道を歩く機会があまりないと思われる幼児にとっては、コースを歩くというだけでも冒険となる。落ち葉や木の実を集めることを楽しみながら、それらに様々な種類や形、色などがあることに気づくようになる。また、落ち葉を踏んで感触を楽しむなど、体の諸感覚を使って自然とかかわることができるようになる。さらに、親子で会話することを楽しんだり、初めて出会った友達とも採集したものを交換したりすることで、人間関係を育むことができる。		
追加・変更できる学習内容	○実施時期の変更 ○探索コースの変更		
事前・事後学習についての助言	事後学習として、この活動によって得た様々なかかわり（自然とのかかわり・自然を通しての人とのかかわり）や、自然への興味・関心をさらに深めていっていただきたい。		
雨天時の学習内容	雨天時は、探索活動の時間に室内レクリエーションを行う。 ○絵本または紙芝居（季節や自然を感じさせるもの）		